

信頼され、選択される 東北電力であり続けるために

● 企業行動指針の必要性

当社は創業以来、「地域とともに歩む東北電力」を基本に、電気の供給を通じて豊かな生活と地域社会の発展、繁栄に寄与することを使命とし、地域社会との強い信頼関係を築き上げてきた。

一方、当社を取り巻く環境は、競争原理の導入による電力市場の自由化など大きく変化しており、社会や株主の皆さまなどから企業の倫理性、企業行動のあり方が一層厳しく問われるようになっていく。

このような経営環境において、公益事業としての社会的責任を全うしつつ、競争に勝ち残っていくためには、今まで築き上げたお客さまや地域の方々、株主の皆さまからの信頼を引き続き維持していくことが必要であり、そのためには、高い企業倫理の醸成が不可欠である。

● 東北電力企業行動指針の概要

こうしたことから、一九九九年二月、当社は企業活動における行動規範として「東北電力企業行動指針」を策定し、当社が、役員・従業員一人ひとりが、社会の一員として、企業人として、企業倫理の維持・向上を永続的な課題としてとらえ、公正かつ誠実に事業を継続していくための行動のあり方を示した。

具体的には、経営理念と使命の達成、法令の遵守と倫理の尊重などを示した「企業行動についての基準」、個人の尊重とオープンな企業風土づくり、従業員の適正な行動などを示した「会社と従業員の関係に係わる基準」、「経営トップ、管理職の対応」の三つの視点から企業行動のあり方を示し、自らの行動に照らして、自ら倫理性を判断するための拠り所として活用している。

また、当社本店および支店に「企業倫理委員会」を設置し、本指針の理解浸透を図るとともに、職場や従業員の自主的な取り組みのフォロー、企業倫理の維持・向上に向けた活動の実施などを展開している。

● 「ビジョン2010」の実現に向けて

当社は昨年「ビジョン2010」を策定し、「企業グループの価値向上」を事業展開の方向性として掲げ、「お客さまから選択される複合エネルギーサービス企業」を目指すこととしており、この具現化のためにも本指針は事業活動の原点として重要である。

本指針を徹底しながら事業活動を円滑に遂行し、お客さまをはじめとするあらゆる皆さまから信頼され、選択される東北電力であり続けるために、ビジョンの実現を目指していきたい。

(東北電力 企画部)